

中津川小5・6年生 田植えに挑戦!!

6月13日、中津川小学校5・6年生がもち米の田植え体験学習を行いました。

これは、総合的な学習の時間での農業生産体験学習の一つで、種まきから収穫まで年間を通じて行っており、生産者の努力や工夫を知ってもらおうことを目的としています。

当日は晴々とした青空のもと、子ども達は昔ながらの三角わくを使って、ひとつひとつ丁寧に植え付けを行いました。

もち米は10月頃収穫し、おこわやぼたもちなどの郷土料理やもちつき大会などに使われます。

森永慎也くんは「手で真っ直ぐ並べながら植え付けるのが難しかった。もちつき大会が楽しみだ」と豊作を期待していました。



鶴田ダム周辺をきれいに!

6月16日、電源開発(株)と関連企業が鶴田ダム公園などの周辺施設の空き缶やごみ拾いを行いました。

同会社は6月の環境月間にあわせてボランティアで実施されており、これから来場者が増える夏場に施設内で気持ち良く過ごしてほしいと毎年行っています。



魚が住める清流願いうなぎを放流

6月16日、株式会社アクシーズ(薩摩工場)が前川にうなぎの放流を行いました。

同工場は、最近川で魚釣りをする姿がめっきり減ったことや、魚が住める清流になることを願って放流を計画されました。

当日は、同工場長をはじめ川内川漁協の役員や区長立会のもと約30キロ(150匹)を放流されました。



推進協力員に小松園静子氏が委嘱

65歳以上の高齢者の割合が、本県のほとんどの市町村で25%を超えています。本町は、平成18年4月1日において34・5%になっています。

そのような状況の中では、高齢者ができる限り住み慣れた家庭や地域の中で、健康で生きがいをもって暮らしていけるように、「個人の尊厳の保持」と「地域福祉の推進」を基本理念とした「すこやか長寿社会づくり運動」を推進することが大切です。

本町において、この運動の浸透・普及を促進するため、今回、平成18年4月1日から平成20年3月31日まで佐志区の小松園静子さんが鹿児島県知事から「すこやか長寿社会運動推進協力員」として委嘱されました。



「Sクラブ」認証式

6月19日、薩摩中央高等学校で国際ソロプチミストさつまによるSクラブ認証式が行われました。

Sクラブとは、学校や地域に何かお役に立ちたいと考えている中学生が高校生が15人以上集まって作るボランティアグループです。

「Sクラブ」のSはService(奉仕)のSで、無限の可能性と才能をもつ中学生、高校生のためにソロプチミストがスポンサーとなり、学生と協力し、又あらゆる活動の機会を与えるユニークなプログラムです。

今回、認証された薩摩中央高等学校41名の生徒は、健全な精神をもって学校や地域社会などへ奉仕活動を行います。

